

市議会だより

No. 74
2021.10.25



シリーズ「南アルプスコネスコエコパーク」 #4 広河原の紅葉【撮影：塩澤佳介さん】

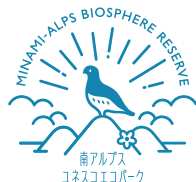
第2回臨時会【7月】／第3回定例会【9月】

市民アンケートを実施します

ご協力をお願いします

南アルプス市
議会改革

Contents / 目次



P02 第2回臨時会(7月)
第3回定例会(9月)の概要

P03 議決結果

P04 代表質問 6 議員

P10 市民アンケートのお願い

P14 一般質問 10 議員

P19 常任委員会委員長報告

P20 予算決算特別委員会レポート

P21 請願／議会活動

P22 市民からひとこと／編集後記

第2回臨時会(7月)の概要

7月21日開催

第2回臨時会では、金丸市長から、条例案1件、予算案1件、合わせて2案件の提出がありました。
 一般会計補正予算額は11億6049万6千円で、主なものは、コロナ禍での経済的な支援事業である「南アルプス元気券」の経費でした。

ピックアップ
臨時会で決まった注目事業

◀ **コロナ対策支援**
 約11億5900万円

元気券配布第2弾
 一人当たり1万5千円

昨年度配布した「南アルプス元気券(商品券)」を今年度は5千円増額して配布。12月から利用開始。



第3回定例会(9月)の概要

令和2年度決算を認定

一般会計

コロナ対策により

過去最大の決算額

令和3年第3回定例会が8月27日から9月24日までの29日間の会期で開催されました。
 金丸市長から、条例案8件、予算案7件、決算認定案18件、ほか5件合わせて38案件の提出がありました。

一般会計補正予算案は、補正額を1億7954万5千円(25事業)とし、予算総額を317億5728万7千円とするものでした。

決算議会と言われる今定例会では、令和2年度一般会計決算をはじめ、14の特別会計、および3つの企業会計の決算認定について審議しました。一般会計については、コロナ対策により大幅に増額し過去最大の決算額で、歳入は約413億8802万円、歳出は約390億3301万円となりました。

また、実質収支額は、約21億9186万円となり、実質収支についても過去最大となりました。

市長から提出された案件は、いずれも全会一致で原案のとおり可決しました。

代表・一般質問

※P4、9、P14、18に掲載

9月8日と9日に代表・一般質問を行いました。今定例会では、16名の議員が市政一般について質問を行いました。

令和2年度の収支に関する表

一般会計

単位：円

歳入総額(A)	413億8801万7240	歳出総額(B)	390億3300万6666
翌年度に繰り越すべき財源(C)	1億6314万8400	実質収支額(A)-(B)-(C)	21億9186万2174

黒字財政維持

南アルプス市は、平成15年の合併以来、黒字財政を維持しており、堅実な財政運営です。今後も市民目線の健全な財政運営を求めます。

ピックアップ

第3回定例会(9月)で決まった注目事業

**旧若草支所
 周辺駐車場を
 再整備**

約1990万円



若草保育所が旧若草支所の駐車場に移転することに伴い、若草地区の拠点施設駐車場として再整備するための設計業務。新若草保育所は令和4年度中に完成予定。

**桃源文化会館
 不良工事の調停を
 申し立てる**

約340万円



桃源文化会館建設当時の不良工事に伴う改修工事により発生した費用の負担を請負業者に求める。

※実質収支 過去最大の黒字
 実質収支額が過去最大になった主な要因としては、コロナ対策でのマスク着用や手洗いの励行などがインフルエンザ等の予防につながり、医療費が全般的に抑えられたことと、コロナ禍の影響で各種事業・イベントが中止になったことです。また、市税は、コロナ禍の影響を余り受けず通常水準を維持できたことも要因の一つと考えられます。

※実質収支：歳入総額から歳出総額と翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額。自治体の黒字・赤字の指標となる。

財政は健全、 決算内容・予算執行は適正妥当である

令和2年度決算の審査結果は、おおむね適正妥当である。決算額は、コロナ対策により合併後最大となり、コロナ対策事業については、迅速・積極的に実施し、市民生活の安定に寄与するとともに、コロナ禍の中でありながら健全財政を維持できていることは評価できる。今後も老朽化した公共施設の改修、超高齢化や子育て支援対策など多額の財政負担が想定されるため、効率的な財政運営、歳入強化策の充実、および無理・無駄のない市民目線のまちづくりの実現に向け、さらに前進した取り組みを推進することを期待する。

令和3年 第2回臨時会・第3回定例会 審議した議案とその結果

上程議案		○：賛成 ×：反対	結 果	藤田 由未	保坂 健	飯野 多恵子	三枝 守和	松野 昇平	戸栗 淳	三木 充	有野 一成	櫻田 力	花輪 幸長	村松 三千雄	野中 國幹	北村 千代子	矢崎 俊秀	名取 泰	小池 伸吾	斉藤 重仁	清水 博明	河野 木綿子	小林 敏徳	
飯野久議長は議事進行のため賛否表明はしません。 賛否同数の場合のみ、議長裁決として表明します。																								
第2回臨時会																								
議案64	ハラスメント検証委員会条例の制定	可決																						
議案65	令和3年度一般会計補正予算(第4号)	可決																						
第3回定例会																								
条例の一部改正																								
議案66	固定資産評価審査委員会条例	可決																						
議案67	職員のサービスの宣誓に関する条例	可決																						
議案68	税条例	可決																						
議案69	地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の 基盤強化のための固定資産税の免除に関する条例	可決																						
議案70	廃棄物の処理及び清掃に関する条例	可決																						
議案71	山荘条例	可決																						
議案72	芦安農業集落排水施設条例	可決																						
条例の廃止																								
議案73	みどりの郷つつさわ条例	可決																						
令和3年度補正予算																								
議案74	一般会計補正予算(第5号)	可決																						
議案75	国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決																						
議案76	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決																						
議案77	介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決																						
議案78	居宅介護予防支援事業特別会計補正予算(第1号)	可決																						
議案79	土地取得造成事業特別会計補正予算(第2号)	可決																						
議案80	下水道事業会計補正予算(第1号)	可決																						
令和2年度歳入歳出決算の認定																								
認定1	一般会計	認定																						
認定2	国民健康保険特別会計	認定																						
認定3	後期高齢者医療特別会計	認定																						
認定4	介護保険特別会計	認定																						
認定5	居宅介護予防支援事業特別会計	認定																						
認定6	芦安農業集落排水事業特別会計	認定																						
認定7	温泉給湯事業特別会計	認定																						
認定8	山梨県北岳山荘管理事業特別会計	認定																						
認定9	芦安簡易水道事業特別会計	認定																						
認定10~14	恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計 (芦安、中尾山外一字、高尾山外一字、城山外一字、雨鳴山)	認定																						
認定15	土地取得造成事業特別会計	認定																						
認定16	水道事業会計	認定																						
認定17	下水道事業会計	認定																						
認定18	自動車運送事業会計	認定																						
人事案件																								
同意案7	教育委員会委員の任命	同意																						
その他																								
議案81	調停の申立て	可決																						
議案82	市道路線の認定	可決																						
議案83	市道路線の変更	可決																						
議案84	令和2年度水道事業会計利益剰余金の処分	可決																						
請願3-4	加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、 中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び 義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	継続 審査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
請願3-5	沖繩戦戦没者の遺骨を含む土砂を埋め立てに 使用しないことを求める意見書の採択を要望する請願	不採択	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	



討議の焦点

広河原山荘新築工事における財務処理において
基本設計料は二重払いではないか
その損害額約400万円

→ 契約行為が市民に疑義を持たれ、住民訴訟にあることから、市民の信頼を得るためにこのようになった理由等を明らかにする必要性がある。



未来創政の会
矢崎 俊秀 議員

広河原山荘新築工事における
建築設計業務の財務会計
処理は適切か

Q 本年3月議会において総務部長が実施設計等に係る事務、および財務会計処理は、適正であることを確認したとの答弁をしたが、どのような根拠に基づいたものか。

A 法律ならびに本市の規則等に基づく事務処理であり適正であると判断した。

Q 基本設計の建物の規模、委託期間、検査内容、支払い期日等について、どのように実施したのか。

A 基本設計の建物の規模については、合計延床面積700平方メートルを目安とし、広河原山荘活用検討委員会で検討中であり、変更となる可能性がある委託である。また、完成検査については、会計課工事検査員により、平成29年3月10日に実施し、専門技術力などや成果品について検査している。

Q 指名入札参加者から延床面積が増えた場合の委託費の増額について、どのような質問書が提出されたのか。

A 増額に関する質問はなかった。

Q 基本設計における特記仕様の建物床面積は、700平方メートルであるが、納品は950平方メートルである。250平方メートルの面積増に対する債務超過を踏まえて、契約変更がなされないままに完成金が支出されている。検査担当は、どのように債務履行を確認し支払いをしたのか。

A 債務履行の確認は、完成検査の完了によって履行されたことと判断し、支払いをした。また、設計事務所は、受注者として完成検査を受けている。

Q 市が策定した実施設計書では、基本設計費を含めて計算し、その中で基本設計費390万円余りが補てんされているが、基本設計費は前年度に支払い済みである中で、この補てんの目的や理由は、どのような考えに基づいたものか。

A 裁判中のため、答弁を差し控える。

Q 実施設計は、随意契約であることから、基本設計を受託した建築設計事務所と協議して委託料の設計書を作成したが、当該建築設計事務所は、基本設計の納品時に会計課の完成検査を受検する立場で検査に臨んでその後、完成金を受領していることから、すでに基本設計費に関する支払

いが前年度に完了していることを承知した上で、実施設計費の設計書の中に基本設計費の補てんを盛り込んだ設計書を作成している。このため、重要な事は、設計書を作成した関係者は、補てんの流れを意図的に作成したことになる。つまり、約400万円からの莫大な市民の財産を不当にも利得された可能性が大である。従って、ここに明確な二重払いの意図性があるが、市はこのことをどのように説明するのか。

A 裁判中のため、答弁を差し控える。

Q 前年度に支払い済みである基本設計費をみなし債務と扱い、翌年度に別契約である実施設計費の中にまぎれて支払いしたが、このような違法な支出に対して、当局が財務規則に照らして適法と答弁する根拠は何だったのか。また、この手法を指示した命令系統はどのようにあったのか。

A 係争中のため、詳細については答弁を控える。しかし、契約行為について市民から、住民訴訟で提起されているので、市民の信頼を得るためには、このようになった理由等を解析し、しかるべき時期にこの次第を明らかにしたいと考えている。

安心の老後を送るために、在宅介護の充実を

→ 令和5年度までに、看護小規模多機能型居宅介護事業所を整備する。

グループホームに宿泊費や食費などの助成を

→ グループホームの来年度からの助成について、鋭意検討を進めていく。

子育て福祉政策の中心に、学校給食費無償化を

→ 将来的な財政負担に鑑み、通年での給食費無償化は予定していない。



日本共産党南アルプス市議団
松野 昇平 議員



介護制度とコロナ禍における介護体制について

Q 看護小規模多機能型介護サービスの整備について、市の所見は。

A 「高齢者いきいきプラン」におけるニーズ調査では、複合的サービスと看護に関する需要が見込まれている。これらを踏まえる中で、「第8期介護保険事業計画」においては、医療ニーズの高い要介護者の看護にも対応するため、令和5年度までに、小規模多機能型居宅介護に訪問看護のサービスを加え、4つのサービスを24時間、365日利用することができる「看護小規模多機能型居宅介護事業所」を1事業所整備し、サービスを提供していく。この計画に基づいた整備により、医療依存度の高い方、退院直後で不安定な方、在宅での看取り支援など、住み慣れた自宅での介護サービスのさらなる充実を図っていく。

Q グループホームなどを対象とした宿泊費・食費などの助成制度や事業所支援について、市の所見は。

A 認知症高齢者の増加率が、高齢者の増加率を上回る本市の状況下において、認知症支援は、最も重要な課題と考えている。介護保険で

は、特別養護老人ホームなどの場合、所得の低い方に対しては、所得の段階に応じて居住費と食費の自己負担の限度額が設けられているが、認知症グループホームの利用にあつては、この制度が適用にならず、月々の利用料が高額になり、負担が大きことから、利用できないケースもあると考えられる。そこで、「高齢者いきいきプラン」では、認知症でありながらも経済的負担を軽減することで、適切な環境で、自分らしく生活できる住居の選択が可能となるよう、認知症対応型グループホームの家賃や食費等の助成について、検討するとしている。現在、来年度からの助成について、先進自治体の実施状況の調査、および関連例規など、鋭意検討を進めている。

学校給食費無償化について

Q 学校給食費無償化の実施自治体は、山梨県内では昨年の富士吉田市に続き、今年度からは甲州市が加わり、4割を超えてきた。南アルプス市でも実施すべきと考えるが、市の所見は。

A 本市の学校給食においては、令和3年度予算に約3億円の賄い材料費のほか、人件費、施設整備等の保守点検委託費、および修繕費等

に約4億600万円、合計約7億600万円の予算を計上し、給食を実施している。今後、学校給食施設設備等も老朽化が進み、維持管理や修繕などに対する経費が、ますます増加していくことが想定される中、給食費の無償化を実施した場合、年間約3億円の一般財源を加えて充てることとなり、10年間で約30億円という大変な財政負担となるため、通年での給食費の無償化は予定していない。



▶ 市内小学校の給食の様子
本市では、コロナ対策で昨年4月から9月の間、給食費無償化を実施した



討議の焦点

学校へ行かない・行けない子どもたちと保護者への対応は

➔ 教育支援センターの充実だけでなく、フリースクール等への支援も前向きに検討する。

より分かりやすい

新たな情報発信ツールの導入の検討は

➔ 公式ライン等、時代のニーズに柔軟に対応したツールの導入を調査研究していく。



南風 藤田 亜由未 議員

学校へ行かない・行けない子どもたちへの本市の対応について

Q 近年、学校へ行かない・行けない子どもたちが増加しているが、子どもたちや保護者へどのような支援に取り組んでいくのか。

A 関係者においてケース会議を実施し、一人ひとりに必要な支援を協議している。その後、教員の家庭訪問やスクールカウンセラーなどの専門家と連携し、自立へ向けた支援、教育支援センター「あるぷす教室Wing」への通所等の個別支援をしている。今後は、リモートでの面談指導等を取り入れ、子どもたちや保護者との関わりや学びを止めない取り組みを進めていく。コロナ禍でのストレスなどの影響に十分配慮しながら、子どもたちにとって楽しく学べ、居心地の良い学校づくりを進めていく。

Q 学校へ行かない・行けない子どもたちのための「あるぷす教室Wing」の利活用の状況は。

A あるぷす教室Wingは、家庭・学校・関係機関と連携し、子どもたちの実情に応じた、教育支援を実施している。現在、6名の小中学生が通所し個々の状況等に応じた学習

を支援し、臨床心理士や教育相談員による本人や保護者との面談で、悩みや不安の軽減を図っている。今後も「心の居場所」として、適切な運営を進めていく。



▶ 甲西農村環境改善センター2階にあるあるぷす教室Wing

Q 学校へ行かない・行けない子どもたちやその保護者たちのためのフリースクールや居場所づくりを行っている団体へ、支援策を講じる考えは。

A 個人経営やNPO法人など、運用形態が多様であり、子ど

もたちへの学習指導体制や施設の状況、学校教育との連携の在り方もさまざまなので、フリースクールの運用状況について十分に把握しながら、より良い環境づくりに努めていく。

情報の発信方法と新たな発信ツールについて

Q より積極的で分かりやすい情報の発信が必要と考えるが、新たな情報ツールを導入する考えは。

A 市政に関わる情報、生活に必要な情報、非常時の災害情報などを市民の皆さまに正しく分かりやすく確実に伝えることが最も重要であると認識している。広報紙、組回覧、CATV放送、ホームページ、南アルプスインフォなどで情報を発信しているが、利便性を高め、より分かりやすく効果的に情報発信するため、広報紙やホームページのリニューアル、フェイスブックやツイッター、ユーチューブなど新たな情報発信ツールの導入も進めている。さらに、地域BWA制度を活用し、災害発生等の非常時に、必要な情報を素早く共有できる通信環境の構築に向けて、計画策定を進めている。今後も時代のニーズに柔軟に対応し、新たな情報発信ツールの導入について調査研究していく。

幹線道路等の整備が遅れていないか

→ 用地交渉等で不測の日数を要し計画通り進まず事業が長期化している。

2つのインターチェンジの位置づけと役割は

→ 2つのインターチェンジを効果的に活用し、市の活性化に結び付けることが課題。

白根IC周辺の土地利用は

→ 特性を見据え南アルプスIC周辺とは違う形で土地利用を図る。



新政南アルプス
有野 一成 議員



幹線道路等の整備について

Q 市の道路整備プログラムには、主要幹線道路、幹線道路、および補助幹線道路が44路線あるが、そのうち整備済み・整備中は7路線しかない。整備ペースが遅いと思うが。

A 事業決定の時点で年次計画を立て事業着手しているが、用地交渉等で不測の日数を要し、計画通り進捗しないため事業が長期化している状況である。

Q 今整備している若草1級1号線、八田13・161号線、荊沢原線は長い期間を要しているが、いつ完了するのか。

A 若草1級1号線は、概ね3年で、八田13・161号線は2年後に、荊沢原線もあと2年で整備が完了する見込みである。

Q 幹線道路等の整備は、今後どのような方針・計画に基づいて整備していくのか。

A 中部横断自動車道やリニア中央新幹線開通等、交通環境の変化等を的確に見据え、市のまちづくりや施策に沿って方針や計画を見直し、併せて事業効果等を十分に協議・精査し、優先順位を付けて進めていく。

また、今後は道路整備プログラムも公表していく。

市内2つのインターチェンジの位置づけと役割について

Q 南アルプスICと白根ICの位置づけと役割は。

A 南アルプスICは、リニアの開通や新山梨環状道路の延伸などにより、交通の要衝として大きな発展の可能性があり、白根ICは、市観光協会やJA南アルプス市直売所に隣接し、果樹観光の玄関口としての役割を担っている。2つのインターチェンジの特徴を効果的に活用し、本市の活性化に結び付けていくことが大きな課題である。



南アルプスIC 中部横断自動車道と新山梨環状道路が交差する交通の要衝

Q 南アルプスIC周辺の土地利用は、新産業拠点整備事業やその周辺の土地利用に関する調査・研究が示されたが、白根IC周辺の土地利用

は、今後どのように検討していくのか。

A 地域の情報、交流、生活利便性に向けた地域拠点の形成を基本方針にしているが、さらに中部横断自動車道や早川芦安連絡道路の開通など新たな交通網を踏まえ、果樹観光や山岳観光の拠点、玄関口としての白根ICの特性を視点に、南アルプスIC周辺とは違う形で周辺の土地利用を図っていく。

Q 南アルプスICからエコパ伊奈ヶ湖方面へ、また、白根ICから芦安方面へのアクセス道路の整備が遅れていると感じる。本市が観光振興を重点施策としている中で、インターチェンジから観光地をつなぐアクセス道路の整備方針や計画は。

A エコパ伊奈ヶ湖方面につながる県道県民の森公園線は、大型観光バス等がスムーズに通行できるような県に要望し、一部改修が実施されており、引き続き狭い箇所の道路改良を要望している。白根ICから芦安方面へのアクセス道路については、ループ橋に向かう道路整備が十分ではなく、その解決策として桃源文化会館南の交差点改良を計画しているが、地権者交渉が難航している。用地交渉が解決次第、早急に整備を進めていきたいと考えている。



討議の焦点

芦安グランドデザインによる、 芦安地域の活性化や人口減少に対する 市の政策は

→ 空き家取得補助金や起業支援補助金などの活用による、
活性化・定住化に向けた施策を行う。



躍進会
戸栗 淳 議員



元地域おこし協力隊の青山さん
2020年に芦安地区でアウトドア客向けの宿(南アルプス36)をオープン

芦安グランドデザインについて

Q 平成30年3月に芦安グランドデザインが策定され、本年は4年目となるが、人口減少の抑制や地域経済の活性化に向けた策定の結果は。

A 芦安グランドデザインは、概ね20年先を捉えて取り組むべき対策を示している。現状は人口減少の抑制に至っていないが、定住促進、および地域活性化を図るための空き家取得補助金や起業支援補助金の活用により、地域おこし協力隊員として転入された方など、宿泊施設やカフェなどを起業しており、定住に結びついている。

Q 平成29年に、山小屋・ペンション・民宿にアンケート調査を行っているが、結果はどのように生かされているか。

A アンケート調査については、今後の宿泊客増加につなげるための消費動向・滞在状況・来客者の要望などを把握するために行った。現段階では、早川芦安周遊道路の完成の遅れや新型コロナウイルスの影響もあり、確実に生かされていないが、今年度の12月に策定予定の「過疎地域持続的発展計画」にも生かしながら、今後の体制づくりや地域の魅力向上につなげていく。

Q 広河原山荘が今年の10月に新築完成に至るが、南アルプス山麓、および芦安の活性化に向けた施策をどのように考えているか。

A 新広河原山荘は、日本第2位の高峰北岳が眺望でき、宿泊室もホテル的要素も取り入れるなど、山荘としては特別な造りであり、一般客の方々にも利用していただくなど、南アルプス山岳観光の拠点としての活用も大きく期待するところである。早川芦安周遊道路の早期完成を願いつつ、芦安グランドデザインと併せ「過疎地域持続的発展計画」に基づき、交流人口拡大による移住・定住者の増加や芦安地区全体を通じて楽しめる周遊

型・滞在型観光を推進していく。

Q 山梨県では南アルプス課を設けて発展を促すという話があったが、どこまで進展しているのか。

A 現在、山梨県では、観光文化部に「南アルプス観光振興担当」が新設された。山梨県と南アルプスエネスコエコパーク構成市町などが連携し、「南アルプス観光振興ビジョン」が策定された。今年度は、このビジョンに基づき、具体的施策が事業として実施される。

Q 早川町との交通を結ぶ南アルプス周遊道路の進捗状況は。

A 山梨県が計画している南アルプス周遊道路については、全体計画約4.5kmのうち、トンネル部分が約3.5km程度である。山梨県では、トンネル工事の際に使用する大型車両の通行確保のため、狭い箇所を局所的に改良や落石等危険箇所対策について、詳細設計を実施し、地区関係者や各種団体と協議調整を行っている。本市としても開通に向け、山梨県と協力し鋭意進めていく。



将来に向けての市の明確なるビジョンは

→ 行きたい、住みたいまちに選んでいただけることを目指し取り組む。

ガバメントクラウドファンディングの活用を

→ 寄付者の意志が自治体の目的とする事業に直接反映。鋭意検討する。

寄付者にも使途が明確に示せる基金の創設を

→ 寄付者の意図を反映する観点からも、基金創設の検討は必要である。



公明党
齊藤 博明 議員

「ふるさと納税」の 将来的展望について

Q 寄付金の選択基準が「還元率」から「質の高さ・持続的な交流」へと変わりつつある。これは、ふるさと納税の「モノ消費(返礼品)」から「コト消費(政策・事業)」への移行にほかならない。ふるさと振興室の創設も含め、将来に向けての市の明確なるビジョンは。

A 長引くコロナ禍にあって、人との交流が制限され、難しい状況ではあるが、アフターコロナを見据えて、体験型返礼品のさらなる充実も図っていく。ふるさと納税事業は、本市の魅力や特産品を広くアピールするだけでなく、地域活性化の起爆剤である。本市の魅力を知ってもらい、興味を持ってもらい、「行きたいまち、住みたいまち」に選んでいただけることを目指し、取り組んでいく。

Q コストパフォーマンスの良い返礼品目当てではなく、自治体の課題解決に寄付者の意思を反映させるガバメントクラウドファンディングは、「応援したい自治体が活性化する過程をみる」、「応援したプロジェクトを確認するために訪れる」など持続的に寄付者と自治体の関係

性を創造する。さらなる積極的活用を提案するが、市の見解は。

A ガバメントクラウドファンディングは、初めから寄付金の使途を明確にすることによって、寄付者が「応援したい」と思える自治体を選んで寄付する制度である。基本的には、ふるさと納税制度と同様の制度であるが、寄付者の意思が自治体の目的とする事業に直接反映されることとなるので、寄付者にも事業成果が分かりやすく、また、寄付の目的に沿った返礼品を設定することで、本市を訪れていただける機会を創出することも可能となるため、交流人口の拡大にもつながると考えており、鋭意検討していく。

Q 現在、寄付者に対しては、寄付金の使いみちとして6つの「まちづくり」が選択できることになっている。寄付者にも使途が明確に示せ、次年度以降にも必要に応じた事業構築ができるよう、使途別の基金の創設を提案するが、市の見解は。

A 高額な寄付金が継続している状況や寄付者の意図を反映する観点からも、基金創設への検討は必要であると考えている。現在、山梨県内13市の内、9つの市が基金条例を制

定し、運用しているが、その内容は、寄付金全額を基金に積み立てる方法、また、返礼品代金や送料といった事務経費を差し引いた額を積立てる方法など、各自自治体によって異なった運用となっている。基金創設については、その目的、運用方法等、効果的な活用のために、さらなる研究が必要であるので、今後は将来の運用に資するため、鋭意検討していく。



▶市は山梨学院大学の学生との連携事業を今年度から始めた。写真は新たな返礼品の提案がなされた中間報告会の様子

南アルプス市議会改革

『南アルプス市議会の活動に関する市民アンケート』

ご協力をお願いします

市民の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

南アルプス市議会では、議会改革の一環として、市民の皆さまが議会についての理解を深めていただき、参加していただけるような開かれた議会にすることを目標に、色々な取り組みを進めているところです。

このアンケートは、皆さまの議会への関心など、議会に対するご意見をいただくために実施するものです。

調査対象は、市内すべての方を対象に実施いたしますので、皆さまの率直なご意見をお願いいたします。なお、集計は、個人を特定しない方法により行い、回答内容を他の目的に使用することは一切ありません。

大変お忙しいところお手数をおかけいたしますが、何とぞ趣旨をご理解の上、アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

南アルプス市議会議長 飯野 久

ご回答いただく方

この議会だより74号を手にとったすべての市民の方が対象です。ぜひ、ご協力願います。

アンケートの回答方法

次の2つ方法のどちらかでご回答をお願いします。

① 紙のアンケート用紙による回答方法

本紙 11 ページの回答用紙にご記入いただき、ポストにご投函をお願いします。切手は不要です。

② インターネットによる回答方法

次のURL、またはQRコードの回答フォームからご回答をお願いします。

<https://forms.gle/dbzW7qNBWcL6PENf9>



はじめに、あなたご自身のことについてお聞きします

※回答は、11 ページの回答用紙にご記入願います。

問1 あなたの性別は。

- 1 男性 2 女性 3 回答しない

問2 あなたの年齢は。

- 1 20歳未満 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代
5 50歳代 6 60歳代 7 70歳以上

問3 あなたが住んでいる地区は。

- 1 八田地区 2 白根地区 3 芦安地区 4 若草地区
5 櫛形地区 6 甲西地区

お住いの地区が解らない場合は、ご住所の郵便番号をご記入ください。

問4 あなたは本市にお住まいになって何年経ちますか。

- 1 5年以下 2 6～10年 3 11～20年 4 21～30年
5 31年以上

『南アルプス市議会の活動に関する市民アンケート』 回答用紙

||||| 記入のしかた |||||

選択問題は、番号に☑を、自由記述問題は、率直なご意見等をご記入願います。

設問番号	回 答 欄
問1	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3
問2	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7
問3	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 (〒 -)
問4	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5
問5	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4
問6 ※複数回答可	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 8 ()
問7	【自由記述】
問8	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2
問9	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 ()
問10	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4
問11	【自由記述】
問12	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5
問13	【自由記述】
問14 ※複数回答可	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 ()
問15	【自由記述】
問16	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 ()

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

回答用紙は所定の形に折り、のり付けの上、令和3年11月30日までにポストにご投函願います。
切手は不要です。

議会だよりに関するご意見・ご感想などがありましたらご記入願います。

お問い合わせ

南アルプス市議会事務局

☎ 055-282-6452

やまおり

やまおり

やまおり

回 答 期 日

令和3年11月30日まで

やまおり

やまおり

やまおり

料
金
受
取
人
払
郵
便

南アルプス局
承認
258

差出有効期限
令和3年
12月31日まで
(切手不要)



4
0
0
0
4
9
0

南アルプス市議会 行

南アルプス市小笠原376

現在の議会活動についてお聞きします

問5 あなたは議会に関心がありますか。

- 1 ある 2 少しある 3 あまりない 4 ない

問6 あなたは議会の活動や情報をどのような方法で得ていますか。(※複数回答可)

- 1 本会議や委員会の傍聴 2 インターネット中継(録画) 3 CATV録画中継
4 新聞等のマスメディア 5 市ホームページ 6 議会報告
7 議会だより 8 その他(具体的にご記入ください)

問7 問6で選択された項目について改善すべき点があればご記入ください。

また、議会の活動を知ってもらうためにどのようなことが必要とお考えですか。(※自由記述)

問8 あなたは議員や議会に対し、ご意見やご要望を出された(伝えた)ことがありますか。

- 1 ある 2 ない

問9 問8で「ある」と答えた方にお尋ねします。

どのような機会にご意見やご要望を出され(伝え)ましたか。(※複数回答可)

- 1 議会事務局へ直接・郵送・FAX 2 議会報告会
3 議員個人 4 その他(具体的にご記入ください)

問10 あなたは議会に市民の声が反映されていると思いますか。

- 1 思う 2 少し思う 3 あまり思わない 4 思わない

問11 問10で答えた理由をお聞かせください。(※自由記述)

問12 あなたは現在の南アルプス市議会を評価しますか。

- 1 評価する 2 どちらかと言えば評価する 3 どちらかと言えば評価しない
4 評価しない 5 わからない

問13 問12で答えた理由をお聞かせください。(※自由記述)

議会活動に期待することについてお聞きします

問14 あなたは議会および議員に対し、特に何を期待しますか。(※複数回答可)

- 1 行政全般のチェック 2 暮らしと市政のパイプ役
3 議会からの情報発信 4 市政の方向を決める意思決定や政策立案
5 その他(具体的にご記入ください)

問15 議会に対するご意見やご要望をお聞かせください。(※自由記述)

問16 最後にお願いします。このアンケートの回答のきっかけは何ですか。

- 1 議会だよりを見て 2 市ホームページを見て 3 議員の訪問
4 その他(具体的にご記入ください)

アンケートは以上です。皆さまの貴重な意見は、今後の議会活動や運営改善などに活用いたします。

貴重なお時間をいただき、ご協力ありがとうございました。



質問の主題



南風
櫻田力 議員

空振りを恐れず、 早めの避難を促す 避難指示の在り方は

Q 災害対策基本法の改正により、避難勧告が廃止され避難指示に一本化された。市は、避難指示をどのように発令し、早めの避難を促すのか。

A 気象データ、河川の水位データ、消防本部や消防団の巡回情報、気象台からの助言などを総合的に判断して発令し、防災行政無線、広報車、消防ポンプ車、緊急速報メール、エルアラート等により、周知していく。

質問の主題



日本共産党南アルプス市議団
名取泰 議員

河川管理で 地元負担の軽減を

Q 3年前の議会質問で、市内の河川内で樹木や草木が繁茂している状況を指摘したが、最近でも改善されていない状況がある。どう対応しているのか。

A 比較的大きな一級河川は、山梨県が管理し、準用河川や小水路については、本市が管理している。一級河川のパトロールは、出水期には毎月1回、渇水期には2カ月に1回実施し、地域住民からの情報提供と合わせて、河川内の雑木や草木の繁茂等の状況を確認している。防災上の改善が

河川管理について

必要である場合、山梨県へ報告し早急な対応を要望している。

Q 地元自治会等に管理をお願いしている所でも、高齢化などに伴い、管理が難しくなっている現状もある。今後、負担を軽減していくべきではないか。

A ゴミ拾いや水路の泥上げ、目地補修など、自治会の協力をいただき、活動実績に応じて河川清掃補助金を交付している。

地元負担の軽減については、市内全域の課題でもあるので、より良い在り方を検討していく。

Q 感染症対策を意識した本市の避難所体制の構築状況は。

A 感染症に対応した避難所運営マニュアルを作成した。感染症対策物資も順次整備している。

Q 指定避難所への設置が進められている防災倉庫と備蓄品の日常管理と有事の際の運用方法を、市は対象自治会等どのように周知しているのか。

A 設置済みの4校については、自主防災会役員や学校管理者等に備蓄内容を説明したが、運用方法等は具体的に説明されていない状況も

●その他の質問

・特別障害者手当について



位置図
(洪水ハザード
マップを使用)

坪川河川内に樹木や
草木が繁茂している様子
坪川橋上流付近
(7月27日撮影)

見受けられる。運用のガイドラインを作成し、整次第、説明していく。



指定避難所
マーク

通学路の安全対策について

Q 本市における通学路の安全点検の実施状況とその結果は。

A 市内関係部局と警察署で構成する通学路交通安全対策会議が、危険箇所についての情報を共有し、対策を協議しており、今年度は107カ所について検討、および対策を実施している。

質問の主題



若草保育所の 移転新築に伴う 駐車場整備は



新政南アルプス
飯野 多恵子 議員

質問の主題



地域に誇れる 地域が誇れる 校舎の改築を



新政南アルプス
三木 充 議員

Q

園庭予定地にある電車の処遇は。

A 移転新築に伴い、減少する駐車スペースを敷地内に確保すること、保育所児童をはじめ、周辺施設の利用者の安全を確保すること。このために地域の役員の方々にご意見を伺っている。また、整備に伴うさまざまな課題の抽出と、これらに対応する手段や手続きなど関係課と協議をしている。

Q

設計業務委託に当たり整備の考え方や現在の状況は。

旧若草支所周辺の 駐車場整備について

A 令和4年度に基本設計・実施設計を、令和5年度から6年度にかけて建築工事を実施し、令和7年度に外構やグラウンド整備を実施し、終了となる予定である。

Q

基本設計、あるいは実施設計にぜひ児童や教職員の方々、また保護者の皆さんからの意見、要望などを十分取り入れながら進めていた

A

令和4年度に基本設計・実施設計を、令和5年度から6年度にかけて建築工事を実施し、令和7年度に外構やグラウンド整備を実施し、終了となる予定である。

Q

本年度から若草小学校校舎の改築準備に入った。基本計画からスタートしたが、完成までのスケジュールを伺う。

若草小学校の改築について

A 基本計画の中で、今回、教員と地域の方と保護者を入れて検討会を開催する予定であり、その中で児童の皆さんにも意見を言っていたらいい、それによって、基本計画の中に取り入れていきたいと考えている。

A

基本計画の中で、今回、教員と地域の方と保護者を入れて検討会を開催する予定であり、その中で児童の皆さんにも意見を言っていたらいい、それによって、基本計画の中に取り入れていきたいと考えている。

だきたいと思うが、考えを伺いたい。

公共施設の経年劣化への 対応について



保育所建設予定地の
公園と園庭になる駐車場

A 老朽化も激しく安全対策をしている。今回保育所建設に当たり、園庭の確保や駐車場の有効活用の面から撤去の方向で検討している。



改築が予定されている若草小学校

Q

隣接する体育館も50年近くが経過している。今後の対応をどのように考えるのか。

A

この体育館については、現在、基本計画策定の中で、耐力度調査を実施しており、調査結果等を踏まえ、改修、もしくは改築による対応策を判断していく。

改築となった場合には、計画策定の中で、新しい校舎と共に、位置や規模等を検討する。

●その他の質問

・学校防災について

Q

建築物の経年劣化は避けて通れない事実だが、公共施設の在り方や保守、管理などの考え方と対応は。

A

平成28年度に「市公共施設等総合管理計画」を策定し、再配置に係る事業を推進してきた。現在は平成2年度に改定した「公共施設再配置アクションプラン」に基づき実施している。今後も、施設の適正配置を進めるとともに、施設利用者の安全を第一に考え、日常での点検等を実施し、適時適切に修繕等に取り組み、計画的に施設の長寿命化を図り、長期的な観点で保守や管理に係る経費の削減を目指す。



質問の主題



新政南アルプス
村松 三千雄 議員

中部横断自動車道を 活用した新たな 交流拡大施策は

A 全線開通により、リニア中央新幹線、新山梨環状線の延伸などと合わせ、本市が交通の要衝として発展できる、またとない好機である。開通効果を生かし、地域の活性化につながるため、企業誘致の推進、移住・定住人口の拡大、観光の振興などを重点に置き推進していく。具体的には、

Q 全線開通により信越方面への展開を含め、より具体的なまちづくりへの施策を示す必要があると考えるが。

中部横断自動車道の山梨・静岡 県全線開通について

A 「バイ・ふじのくに」の取り組みを、山梨・静岡・長野・新潟県による「バイ・やまのくに」に拡大し、新たな経済圏の構築を目指すことも検討されている。本市も、長野・新潟との交流は、観光振興や経済活動において重要であると捉えており、中部横

Q 「バイ・ふじのくに」で培った経験やノウハウを生かし、長野県や新潟県にも広げていく考えは。

南アルプスIIC新産業拠点整備事業、工業団地への企業誘致などに鋭意取り組んでいる。この好機を逃すことのないよう信越方面への展開を含め、各分野において積極的に施策を展開していく。

質問の主題



新政南アルプス
保坂 健 議員

遊休農地対策の 取り組み強化を

A 農業委員会としては、農地所有者等に、シルバー人材センターなどの対応事業者の紹介や第3者への斡旋制度を案内しており、農地の適正管理を呼び掛けている。今後は、農業委員や農地利用最適化推進委員、JANA南アルプス市などの関係機関と連携する中で、遊休農地の解消に取り組んでいく。

Q 遊休農地は、雑草、害虫、病原菌のコロナーとなっているか。どのように考えているか。

遊休農地の周辺に及ぼす 悪影響対策について

Q (仮称) 荒廃農地検討委員会の設置に向け、その後の取り組み状況は。

荒廃農地解消に向けた 市独自の取り組みについて



草木が繁茂した耕作放棄地

A 現在、成果をあげている自治体の活動事例などを参考に、検討を重ねている。なお、設置の際には、実効性の高い組織づくりを目指していく。

Q 正面階段の断裂、外壁の剥落、雨漏り等が発生している。対策をどう講じていくのか。

A 現在、状況調査を進め、対応中である。今後、早急に施設の状態を詳細に調査し、適正な改修計画を検討していく。

甲西農村環境改善センターの 老朽化について

●その他の質問

・地域おこし協力隊支援事業の取り組みについて



VF 甲府と連携した、あんぼ柿販売を通じた観光 PR (松本市にて)

質問の主題



躍進会
三枝 守和 議員

カーボン ニュートラル 電力部門の 脱炭素化は大前提

Q 住宅の省エネ促進や太陽光発電システムの推奨に対する補

A 近年の自然災害の被害は年々増加傾向にあり、本市の脱炭素の取り組みは「第3次南アルプス市地球温暖化対策実行計画」に基づき、庁舎、公共施設等から排出される温室効果ガスの削減、本年度から取り組みの「南アルプス市第2次環境基本計画」で市民、事業者、および行政が温暖化対策でCO2削減を目指す。

Q 環境省は2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロの実現に向け、地方自治体の施策を支援する改正地球温暖化対策推進法に基づき、再生可能エネルギー事業の促進区域を増やし、対策を加速させる方針である。地産地消の材料でバイオマス発電を創設する考えは。

A 脱炭素の建築支援策として「南アルプス市エコライフ促進補助制度」と省エネ性能の高い住宅に対し「ゼロエネルギーハウス支援事業」補助制度がある。

Q 桃せん孔細菌病防除薬剤費の継続助成措置は。

A JA南アルプス市と連携を図り、来年度も生育期と秋季の防除費用を助成する。



せん孔細菌病の被害を受けた桃

質問の主題



躍進会
野中 國幹 議員

小笠原橋に 「小笠原長清公」の モニュメント設置を 行う考えは

Q 長年の懸案であった小笠原橋の架け替え工事が、ようやく実現可能となり、県から資料提供があった。これに伴い、この地に館をかまえた甲斐源氏とする武将である「小笠原長清公」の活躍を後世に残すため、橋の欄干、もしくは周辺にモニュメントの設置を望む声が、地域から上がっている。これに対する市の見解は。

A 小笠原長清公は、甲斐源氏「加賀美遠光公」の次男として生まれ、「小笠原」の地名を名字として活躍

した武将であり、発祥の地である本市にモニュメントという形で、後世に伝えていく地元地域の皆さま方のご意見については、「小笠原橋連絡協議会」において、十分に協議を重ね、要望内容を取りまとめ、協議会の場で発信していくことが必要と考えている。

Q 山梨県は県内の市町村が管理する橋梁で、老朽化に伴う早期の補修が必要とされる橋の数が248カ所あり、5年以内を目途に整備要望を行ったとのことであるが、本市の中で含まれる橋梁はあるか。



架け替え予定の小笠原橋

A 緊急性が最も高い「緊急の措置が必要」と判定された橋梁はなかったが、その次に緊急性が高い「早期の措置が必要」と判定された橋梁は、1カ所あった。この橋については、既に補修設計業務を委託し、来年度の補修工事に向けて準備を進めている。

Q 橋梁対策について



質問の主題



小林 敏徳 議員

市長の行為は地位利用に当たるのでは

Q 公職選挙法136条の2、地位利用による選挙運動の禁止で、市長の立候補の要請は、選挙運動の準備行為であって事前運動には当たらないか、訂正はないか。

A 「公職選挙法における地位利用に該当しない」との答弁については、訂正はない。

Q 6月の一般質問で、「昨年11月に実施された市議会議員選挙で市長が行った行為が地位利用に当たり、公職選挙法に抵触するのではないか」と質問した。その時の答弁で、訂正する箇所はないか。

市長の発言について

Q 7月26日の議員説明会で旧完熟農園の企業募集の説明があった。昨年度は「新型コロナウイルスの蔓延で企業のマインドが落ちている」として募集を延期した。今年の10月より企業募集するとしているが、企業のマインドは好転して来たのか。

旧完熟農園について

A 私は、そういう発言はしていないとしているが、市長が直接要請に行くことは、準備行為ではなく事前運動に当たるのではないかと。

A 私は、そういう発言はしていない。

質問の主題



公明党
河野 木綿子 議員

フルタイムで働けない女性へテレワーク事業で支援を

Q 子育て・介護等で、フルタイムで働けない女性や今後の障がい者支援も含め、具体的なテレワーク事業を本市で行う考えは。

A 女性の多くが働ける環境は、少子超高齢化社会にも対応した就労形態である。障がい者支援も視野に入れ、保健福祉部内で情報を共有し、先進地実例なども参考にすることで、現状や課題を十分に整理し、より有効な取り組みについて、調査・研究する。

テレワーク事業の推進に向けた取り組みについて

Q 令和元年6月議会において、性同一性障がいの方に対する理解と安心して生活できる支援を訴えた。研究し検討する課題であった。中学校での制服の選択、同性パートナーシップ承認について、その後の本市の考えは。

A 多様性社会の構築を「第2次総合計画後期基本計画」に、新たな施策として追加し、性的マイノリティなど、市民の多様性に配慮し、印鑑証明書や投票所入場券の性別記載を

性的マイノリティへの支援策について

無くすなどの改善を図った。中学校での制服の選択については、この2学期から、希望する制服での登校が認められた学校もあり、今後、制服の選択について、検討を進めている学校もある。また、令和元年度、2年度とLGBTに関する市民の認知度について、アンケート調査を実施。市民にLGBTに関する情報を発信した段階である。



LGBTの情報発信をした「ハーモニープラン推進だよりVol.22」

Q 新型コロナウイルス感染拡大による影響は大きく、応募が期待される企業の投資マインドは厳しい状況が続いていると考えている。投資に対して前向きな企業も見受けられ、継続的に連絡をいただいている状況である。

A 新型コロナウイルス感染拡大による影響は大きく、応募が期待される企業の投資マインドは厳しい状況が続いていると考えている。投資に対して前向きな企業も見受けられ、継続的に連絡をいただいている状況である。

Q 募集の開始には破産管財人の提言があったからではないのか。

A 破産管財人から破産処理を急いでもらいたいと言われているのは事実であり、今回判断した原因の一つの判断材料となっている。

各常任委員会 委員長報告

常任委員会の質疑の要約を掲載しています。各常任委員会では、条例案など予算以外の案件について審査しました。

総務常任委員会

●地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の免除に関する条例の一部改正

Q 本条例に基づいて固定資産税が免除になる事業者はいくつあるか。また、この条例改正で影響はないか。

A 免除になっているのは3事業所である。3事業所には条例改正に伴う影響は特に無い。

●沖縄戦戦没者の遺骨を含む土砂を埋め立てに使用しないことを求める意見書の採択を要望する請願

Q 沖縄県議会、市町村議会では戦没者の遺骨を含む土砂を埋

め立てに使用しないことを求める意見書を「可決している」とあるが、沖縄県の各市町村議会でも、どのくらいの議会が意見書を提出しているのか。

A 詳しく調べていないので、正確に答えられないが、かなりの市町村が意見書を可決したと聞いている。

本会議で討論あり

P21に掲載

厚生文教常任委員会

●廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

Q 手数料を徴収する一般廃棄物に、スプリングマットレスとソファー（スプリング入り）が追加となるが、手数料の金額について他市との比較状況は。また、本市ではどのように手数料の金額を決定したのか。

A 他の市町については13市町が実施しており、手数料は3千円から4千円がほとんどである。手数料の決め方は、解体業者からシングルベッドが3千円、セミダブルベッドが4千円、ダブルベッドが5千円掛かると提示され、昨年までは、出されている8割以上がシングルベッドであったため、一律3千円と設定した。

●加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

審査未了につき次回定例会へ継続

産業土木常任委員会

●山荘条例の一部改正

Q 山荘の食事料金は、指定管理者の裁量に任せるということであるが、それが明確に利用者に分かるのは、どのタイミングで、どんな形で公表していくのか。

A 広河原山荘については、公募して来年4月に指定管理者が決まるので、それ以降のタイミングでホームページ等を通じて公表していく。また、今年度から予約制度を導入している中で、予約システムの中でも公表し、利用者に混乱がないようにしていきたい。

●みどりの郷くつさわ条例の廃止

Q みどりの郷くつさわのほかの施設は、用途廃止して売却しているが、この1棟残っていた「仙丈ヶ岳」は、どういう施設か。

A 平成2年度に山村の古民家的な宿泊事業に着手し、順次事業を進めていく中で、「仙丈ヶ岳」については、平成9年度に山村振興等農林漁業特別対策事業の補助金交付を受けて建てたもので、他の施設を売り払った時には、補助金等適正化法の適用の範囲で制限が掛かっており、用途廃止できなかったが、その制限の22年が経過し、用途廃止ができることになったので、この条例を廃止して今後に進んでいく。



▶用途廃止され売却が予定されている「仙丈ヶ岳」

予算決算特別委員会レポート

決算審査で評価し、次年度予算へ生かす提言を

予算決算特別委員会を設置し、9月2日に補正予算を、13日から17日に決算を議長を除く全議員で審査しました。

委員会では決算審査が次年度の予算編成に生かされるよう、審査と議員間討議を通して明らかにした、今後の行財政運営の改善に向けた課題等を執行部へ提言しました。

また、活発に行われた委員会での質疑応答の一部を紹介します。



次年度予算への提言を審査し、決算で事業を評価するサイクル。決算を重視し、次年度予算への提言を審査し、決算で事業を評価するサイクル。

審査結果

付託された案件は、全て可決、および認定すべきものと決まりました。

決算審査

主な質疑の要約

一般会計

●歳入

Q 実質収支が過去最大になったが、どう分析しているか。

A 一般的に予算額の5%位と言われている。市税が堅調であり、

コロナ禍の影響で事業中止やマスク等の予防策で医療費は減少した。あまり金額が大きくなることは、好ましくないため、財源の有効活用に努めていきたい。

●観光プロモーション事業

Q プロモーションの実績は。

A 静岡伊勢丹と連携した果物の販売会の開催。また、CMやラジオなどで果物のPRを行い、伊勢丹のオンラインショッピングは非常に好評を得ている。また、PR動画を作成した。

●成人式挙行事業

Q 成人式が開催できたことは非常に評価する。今後の開催に向けて、どう考えるか。

A 昨年度は、大規模なコロナ対策を実施して開催した。今年度も成人者主体の実行委員会を設置し、反省と良かったところを十分に取り入れ、実施できるよう準備している。

令和2年度 主な会計決算額		単位：円	
一般会計	歳入	413億8802万	
	歳出	390億3301万	
特別会計	国民健康保険	歳入	71億7003万
		歳出	69億1316万
	後期高齢者医療	歳入	13億3666万
		歳出	13億3559万
	介護保険	歳入	62億3970万
		歳出	59億4785万
水道事業 会計(税抜)	収益的収支	収入	14億3215万
		支出	11億6122万
	資本的収支	収入	8億2171万
		支出	14億1018万

その他の審査 主な質疑の要約

●調停の申し立てについて

Q 桃源文化会館建設当時の不良工事の責任を市は、どのように分析しているか。

A 法的な措置は取れない。請負業者より243万2千円を費用負担する回答をもらっているが、市民の納得が得られるよう改修費1億688万1千円に対する道義的責任を求めていく。

討論あり!

矢崎委員から反対討論、有野委員から賛成討論があり起立採決をした結果、15対5の賛成多数で可決すべきものと決まりました。

補正予算審査

主な質疑の要約

一般会計

●社会体育施設維持管理事業

Q 旧若草支所周辺駐車場の整備する範囲は。

A 体育館南側の公園、倉庫、弓道場など旧若草支所周辺全ての敷地内について、安全面と駐車スペースを確保するため見直しを図る。

議会関連の補正予算可決しました

タブレット議会導入へ

議会のペーパーレス化と事務の合理化を図るために、タブレット端末を購入します。今年度タブレット議会の準備を整え、来年度から運用スタート。



会議録検索システムを充実

会議録検索システムで合併当初から現在までの全ての定例会、および臨時会の会議録が閲覧検索できるようにいたします。今年度末までに整備。



議会改革

請願 1

「沖縄戦戦没者の遺骨を含む土砂を埋め立てに使用しないことを求める意見書の採択を要望する請願」は不採択

請願者
新日本婦人の会南アルプス支部支部長

令和3年8月19日に提出された上記の請願は、総務常任委員会に付託し審査しました。常任委員会では質疑後に2名の委員から討論があり、審査の結果は、賛成3名、反対3名の同数であったため、委員長裁決により不採択するべきものと決定しました。

討論 私賛成！私反対！ - 議員はこう考える -



沖縄防衛局は、新基地建設のため沖縄南部地域の戦没者の遺骨を含む土砂を埋め立てに使う方針である。これは、戦没者の尊厳を損なうもので人道上許されないとし、遺骨が混入した土砂を埋め立てに使わないことと、日本政府が主体となって遺骨を収集することを求めている。

反
対



**国は約束した
遺骨混入土砂は使わない**
戸栗 淳 議員

遺骨混入土砂を埋め立てに使う事は、人道的に許されるものではない。しかし、防衛省は遺骨混入土砂は使わないと明言しており、調達先についても未確定としているため、今回の請願については時期尚早であると考えます。

賛
成



**戦没者の遺骨を
家族のもとに**
松野 昇平 議員

土砂採取の現場である沖縄本島南部地域は、多くの民間人を巻き込んだ沖縄戦の激戦地であり、粉砕骨が多く、収骨やDNA鑑定が困難という重い課題に直面している。沖縄の声に寄り添い、戦没者の尊厳を守るためにも採択すべきである。

請願 2

「加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書」は継続審査

請願者
南アルプス市連合PTA会長
南アルプス市公立小中学校長会会長
南アルプス市公立小中学校教頭会会長
山梨県教職員組合中巨摩支部執行委員長

令和3年7月29日に提出された上記の請願は、厚生文教常任委員会に付託し審査しました。常任委員会での審査では、請願に対する理解を深める必要があることから、継続審査を求め採決した結果、可否同数となり、委員長裁決により継続審査となりました。



小学校の35人学級実施に当たっては、加配定数の振り替えではなく、教職員定数の実質的な増員をし、中学校でも35人学級を実施すること。また、学校の働き方改革・長時間労働の是正や教育予算の拡充などを求めている。山梨県では今年度から25人学級が小学1年生で導入されているものの、本請願では、全国の子どもたちが一定水準の教育と豊かな子どもの学びを保障することが不可欠としている。

議 会 活 動 報 告

南湖地区治水対策 ついに実施へ

毎年の陳情活動が実を結ぶ 8月2日

長崎山梨県知事へ南湖地区の治水対策強化の促進を求める要望書を提出しました。平成29年度から毎年、県や国へ陳情等の働き掛けをしており、今年度になり、ついに県では横川伏越増設の事業化に向けて動き出しました。



議員研修 山梨県市議会議長会議員合同研修会 コロナ禍によりオンライン開催 8月4日

都留文科大学の高橋洋教授を講師に、「脱炭素時代の国際関係と日本のエネルギー政策」をテーマとした研修会に参加しました。

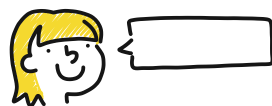
議会改革 議員勉強会を開催 10月7日

議会改革の一環としての議員勉強会第3弾。今回は、大正大学の江藤俊昭教授を講師に招き、議会の在り方について勉強会を開催しました。





市民からひ・と・こ・と



HITOKOTO from the Citizen



荻原 まゆみさん

📍 地区 / 山寺

議員の皆さまには、日頃からの活動に敬意を表します。
 現在は、100年に一度と言われる新型コロナウイルスのパンデミックに遭遇し、市政を進める上でも、とてご苦労が多いと思います。少子高齢化、人口減少にも歯止めが掛からず、課題は山積みだと思っています。
 けれど、私たちのかわいい子孫のために、目先の事ばかり考えるのではなく、遠い将来を見る目を持っていただいて、いつまでも住みやすい、美しい南アルプス市になるような市政を行っていただきたいと思っています。
 新型コロナウイルスが収束して、南アルプス市に沢山あるお祭りや行事ができるようになることを期待しています。



河西 勝久さん

📍 地区 / 有野

良き、過ぎ去り日々を憂いて
 市の北西部に住む老人の時代にそぐわぬ嘆き事と思える一言をつづってみました。隅っこゆえにすべてが疎外視された感じがします。
 住んでみたいまちは全く空論である。空き家は増え、子どもたちの声もなく全くの老人集落になりつつあります。
 手押し車で行くことのできた農協でさえ、令和4年度には業務すべてが移動になると聞きます。合理化ばかりを唱えるリーダー諸代に浅学な老人からの願い事や日の当たる場所も欲しいと願うものであります。

市民からひ・と・こ・と 募集中

あなたの意見を『議会だより』で発表してみませんか。
 市議会に対する意見や感想をぜひお寄せください。
 【300字以内にまとめてください。】



提出先

〒400-0395 南アルプス市小笠原376
 南アルプス市議会事務局 宛
 メール: gikai@city.minami-alps.lg.jp
 FAX: 055-282-6459



表紙写真募集中!!

『議会だより』の表紙写真を募集しています

テーマは、南アルプスユネスコエコパークにちなんだ市内の自然風景です。市街地や山岳地域など、これはというものをぜひご投稿ください!



詳しくは webで



<https://www.city.minami-alps.yamanashi.jp/docs/9395.html>

※応募条件や提出方法は市ホームページをご覧ください。



議会を傍聴してみませんか?

事前申込不要 委員会も傍聴可能

第4回定例会の会期予定

11月26日	本会議(初日)
29日~12月2日	委員会
12月 8日~ 9日	代表・一般質問
13日~14日	委員会
17日	本会議(最終日)

※日程等は、定例会前の議会運営委員会で正式に決定されます。
 (日程が変更になる可能性があります。)

●第3回定例会の傍聴者数:14人

※報道関係者13人は除く

編集後記

秋も深まり、今年も2カ月余りとなりました。
 今年も新型コロナウイルス感染症対策で始まり、地域の行事等がほとんど中止や縮小され、ストレスを感じておられる方が多いと思います。早く治療薬が出て安心して元の生活に戻れるように願っています。
 その中でもオリンピック・パラリンピック2020東京大会は、ほとんど無観客で開催され、無事に終えられたことは関係者のご努力と熱意の賜と感謝しています。また、選手はこの日に掛けた熱い思いと懸命な努力を最大限に発揮され、私たちもそのパフォーマンスを精一杯応援しました。
 特に、ハンディを乗り越え、不可能なことはないというパラリンピック選手の強い精神力と明るさに感銘を受けました。この大きな力を私たちも議会活動に生かしていきます。

議会だより 編集委員会

委員長 / 北村 千代子 副委員長 / 松野 昇平
 委員 / 藤田 亜由未、保坂 健、三木 充、斉藤 諭、
 河野 木綿子、小林 敏徳

南アルプス No.74
 市議会だより

発行者 南アルプス市議会 〒400-0395 山梨県南アルプス市小笠原376
 TEL 055-282-6452 FAX 055-282-6459
 URL <https://www.city.minami-alps.yamanashi.jp/gikai/>

